

流星群を見逃すな！

流星観察は星名所の南牧村で



みな福

ここだけ

ほおすと
言っちゃおう

情報

第8号

今回のレポーター



こんにちは。科学大好き、歴史も大好き、知性派ふくろうの福男です。南牧村は天文台などの研究施設を有し、また、縄文遺跡の調査が行われるなど、学術研究が盛んな所です。研究の紹介や、村の歴史、自然観察の情報など、わかりやすくお伝えします。

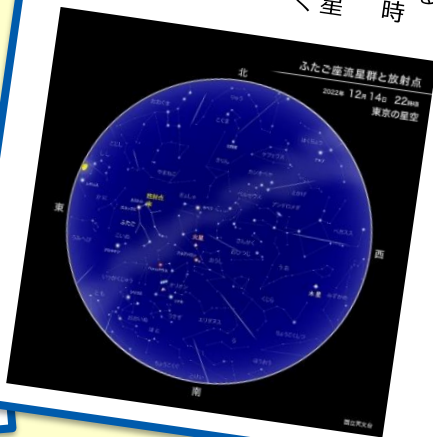
発行年月日
2022年12月9日

発行人
野辺山観光案内所

ふたご座流星群

出現期間：12月4日から12月17日

*極大を迎える
12月14日午後10時
には、東から月が
昇ってきます。流星
の観察には月が高く
昇る前の午後9時
ごろから午前0時
ごろまでがお勧めで
す。空の広い範囲で
特に月がない方向を
観察するようにしま
しょう。



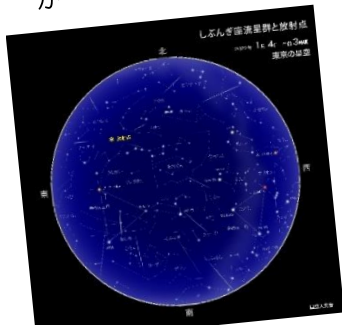
画像提供：国立天文台

*極大とは
流星群が最も活発に活動する
こと（または、その時期）

しぶんぎ座（りゅう座）流星群

出現期間：12月28日から1月12日

極大を迎えるのが
1月4日の昼間であり、
また、夜になっても満月
に近い明るい月があるの
で、流星観察にはあまり
好条件ではありません。
そんな中でもお勧めの時
間は1月3日、月の沈
む午前4時30分から
夜明けまでです。夜更か
しより早起きが吉！



上図は2022年のものです
2023年は西の空に月があります

ペルセウス座流星群（8月）ふたご座流星群（12月）しぶんぎ座流星群（1月）といった三大流星群のうち、二つが冬に見られます。空が澄み渡る冬の南牧は星空観察には絶好！でも、冬ならではの注意点もたくさんあります。例えばトイレ。厳冬の南牧村では殆どの屋外トイレが凍結防止のため冬期中は閉鎖されています。そこで今回は南牧村でお勧めの星空スポットについて、冬だからこそ気を付けたい点も交えてご紹介します。しっかりと冬支度、そしてマナーを守って、満天の星空をご堪能ください。



各スポットへの行き方は、野辺山観光案内所のパンフレットコーナーにある「野辺山スターウォッチングマップ」をご参照ください。こちらのQRコードからご覧になれます。

① ふれあい公園

人工の光が殆ど無く広い芝生の上でゆつくりと観察できます。中央の池に映る星空も魅力。アクセスしやすい場所ですが積雪時の通行には注意が必要です。最寄りの公衆トイレ：野辺山駅（車で約7分）



② しし岩駐車場（平沢峠）



八ヶ岳の大パノラマ



夕陽に映える南アルプス

③ 開拓記念碑

全天の星空が楽しめるスポットです。道幅が狭く積雪や凍結があるとアクセスしづらくなります。最寄りの公衆トイレ：野辺山駅（車で約6分）



未舗装の駐車場

④ 天皇后陛下 行幸啓記念碑

海ノ口牧場近くにある記念碑周辺の駐車場と芝生の歩道が観察スポット。人工の光が全くない暗い空が魅力です。坂道が多く積雪時には通行止めになるなど天候次第ではアクセスが困難な場所。夜間は鹿などの野生動物が現れるので運転には細心の注意が必要です。最寄りの公衆トイレ：佐久海ノ口駅（車で約8分）



6分